

◇睡眠時無呼吸症候群(SAS)

朝方の熟眠感の欠如や日中の眠気の原因として SAS が潜在していることがあります。いびきのひどい方や肥満傾向のある方に多く、家族や周囲の人から睡眠中に呼吸が止まっている、と指摘された場合には検査をお勧めします。夜間の無呼吸からくる低酸素やストレスが 3 大成人病である高血圧、高脂血症、糖尿病の原因・悪化要因となっていることも指摘されています。SAS の治療方法は CPAP という器械を睡眠中にマスク装着のうえ使用する方法が主ですが、耳鼻咽喉科での口蓋形成手術、歯科口腔外科でのマウスピース装着療法など患者さまにあった治療法を考えます。検査方法はまず自宅で行える簡易スクリーニング検査を外来で行います。正確な診断が必要な場合や、簡易検査で治療方針判定が難しいような場合には 1 泊入院のうえ精度の高いポリソムノグラフィー(PSG)検査を施行しております。

[PSG 検査の実際はこちら](#)